

2024年度 4期

広報露出

2025/04/06



さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、
ときに心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。
そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子供たちをはじめ全国の人たちが
「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、
日本財団、総合海洋政策本部、国土交通省の旗振りのもと、
オールジャパンで推進するプロジェクトです。

01

TITLE
海洋研究スーパーサイエンスプロジェクト



公式メディア



公式ウェブサイト <https://kaiyo-3d.y-artfactory.jp/>

Youtube <https://www.youtube.com/@kaiyo-3d>

X https://twitter.com/kaiyo_3d

1期生～3期生 研究生
個別インタビュー
配信中！

◇TV放送回数 計19回 ◇リリース本数 3本 WEB掲載 計119回

テレビ露出(一部抜粋)

日付	会社・局	媒体
2024/5/6	NHK Eテレ	オハ！よ〜いどん 朝の会 「おかあさんありがとう(1)」ゲスト：板垣李光人
2024/6/9	テレビ東京	みんなのあおい
2024/8/6	テレビ埼玉	情報番組マチコミ
2024/8/10	日本海テレビ	SEA TOTTORI2024
2024/8/15	千葉テレビ	もーにんぐコンパス
2024/8/16	テレビ神奈川	t v k NEWSハーバー
2024/8/30	テレビ愛知	キン・ドニーチ
2024/6/15	テレビ神奈川	あっぱれ！KANAGAWA大行進「佐々木蒼大」
2024/6/22	テレビ神奈川	あっぱれ！KANAGAWA大行進「小柳遥雅」
2024/6/29	テレビ神奈川	あっぱれ！KANAGAWA大行進「富田蓮」
2024/7/6	テレビ神奈川	あっぱれ！KANAGAWA大行進「山田陸空斗」
2024/7/13	テレビ神奈川	あっぱれ！KANAGAWA大行進「佐々木蒼大」
2024/7/20	テレビ神奈川	あっぱれ！KANAGAWA大行進「山田陸空斗」
2024/7/27	テレビ神奈川	あっぱれ！KANAGAWA大行進「小柳遥雅」
2024/8/3	テレビ神奈川	あっぱれ！KANAGAWA大行進「佐々木蒼大」
2024/8/10	テレビ神奈川	あっぱれ！KANAGAWA大行進「富田蓮」
2024/8/24	テレビ神奈川	あっぱれ！KANAGAWA大行進「富田蓮」
2024/8/31	テレビ神奈川	あっぱれ！KANAGAWA大行進「山田陸空斗」
2024/9/7	テレビ神奈川	あっぱれ！KANAGAWA大行進「小柳遥雅」

▼テレビ東京 (6/9)



▼テレビ埼玉 (8/6)



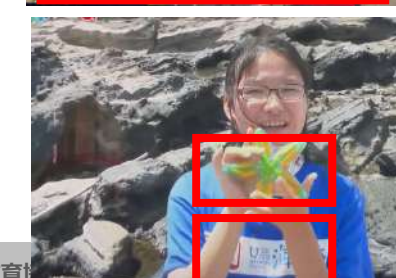
▼日本海テレビ (8/10)



▼千葉テレビ (8/15)



▼あっぱれ！KANAGAWA大行進 (全12回)





Web掲載メディア(一部抜粋)

▼入学式プレスリリース 59媒体

媒体名
ニコニコニュース
リビング東京Web
WalkerPlus (ウォーカープラス)
朝日新聞デジタルマガジン & [and]
おたくま経済新聞
@niftyビジネス
茨城新聞クロスアイ
ReseMom (リセママ)
マピオンニュース
ORICON NEWS(オリコンニュース)
dメニューマナー
さんにちEye 山梨日日新聞電子版
さんたつ by 散歩の達人
NewsPicks
アキバ経済新聞
エキサイトニュース
SEOTOOLS
ウレぴあ総研
とれまがニュース
ハピママ*

▼海洋研究合宿リリース 33媒体

媒体名
千葉日報オンライン
リビング千葉Web
NewsPicks
茨城新聞クロスアイ
ORICON NEWS(オリコンニュース)
JBpress (ジェイビープレス)
ニコニコニュース
@niftyビジネス
マピオンニュース
STRAIGHT PRESS (ストレートプレス)
BIGLOBEニュース
東洋経済education×ICT
TBS NEWS DIG
さんたつ by 散歩の達人
iza (イザ!)
産経ニュース
毎日新聞デジタル
SEOTOOLS
WalkerPlus (ウォーカープラス)
とれまがニュース

読売新聞 オンライン

BIGLOBEニュース

財経新聞



東洋経済
ONLINE

@nifty ビジネス

Jiji.COM

フレッシュアイニュース

企業発情報

ORICON NEWS

イベント開催時

4期生募集開始



海洋合宿



入学式



研究発表会



日経新聞

2024年8月26日



【海洋研究3Dスーパーサイエンスプロジェクト】第二回授業として「海洋研究合宿in千葉」を実施【海と日本プロジェクト広報事務局】

2024年8月26日 PR TIMES 2552文字

2024年8月17日～19日 千葉県勝浦市

一般社団法人日本3D教育協会は、2024年8月17日（土）～19日（月）、海洋や3Dに興味がある中学生を対象にした「海洋研究3Dスーパーサイエンスプロジェクト」西郷生の第二回授業として、千葉県勝浦市で海洋研究合宿を実施いたしました。この活動は、次世代へ豊かな海を引き継ぐために、海を介して人と人とのつながる「日本財団「海と日本プロジェクト」」の一環です。



イベント概要

開催概要：

本合宿は、全国の研究生たちが千葉県勝浦市に集まり、主任講師による海洋基礎講座をはじめ、海洋生物の生態に触れる博物館の見学や、観察力も実践的に身につけるスケッチ、フィールドワーク（磯探索）をはじめ、海の豊かさに触れて学習することで、海に対する興味と関心を持ちながら今後の研究に役立てることをねらいとして実施しました。またプロジェクト四期生として、全員と講師の面談を行い、やりたいことを話し合い、今後の研究テーマを決定しました。

約八ヶ月、活動を共にする仲間たちとの交流を育み、お互いの研究テーマや取り組み内容に関心をもちながら切磋琢磨しあうためのコミュニケーションの役割を果たすことにも繋がりました。

日時：2024年8月17日（土）～8月19日（月）

場所：千葉県勝浦市 かつうら海中公園周辺

対象：海洋研究3Dスーパーサイエンスプロジェクト 四期研究生10人（全国の中学1年生～3年生）



2日目：海の博物館見学・全員の個別面談・海洋生物スケッチ

2日目は、千葉県立中央博物館分館 海の博物館で、展示されている海洋生物を見学。ふだん生活する地域の海では見られない珍しい魚に興奮したり、生態の知識を語り合いながら楽しそうに見て回りました。博物館の見学の後は、全員と講師との個別面談を実施。プロジェクトで研究する海洋生物のテーマについて、調べたい事と、3D技術でどのように表現することイメージして最終成果物の制作に取り組みか、研究の方法について、丁寧にすり合わせを行いました。

また、その他の研究生たちは、好きな海洋生物のスケッチに取り組みました。1Aから、どんな点に工夫して観察すると良いか、スケッチのポイントを丁寧にレクチャーいただいていたので、各自取り組みました。スケッチは、デッサンとは異なり、見えたままを描くのではなく、スケッチをすることで、対象の細部まで観察する姿勢が身につくとご指導いただきました。



3日目：磯探索・フィールドワーク

朝から、2日目の博物館の前にある海岸へ出て、浜に分かれて磯探索・フィールドワークを実施。海や魚が大好きで、日頃から採集のために川や海へ出かけるなどして海洋生物に詳しい研究生も多く、海で生物を捕まえるたびに、どのような特徴があるか詳しい生態の解説をしてくれました。



日経新聞

2024年8月26日



全国から選抜された中学生11人、いよいよ始動！【海洋研究3Dスーパーサイエンスプロジェクト】四期生の入学式・第一回授業を実施しました【海と日本プロジェクト広報事務局】

2024年8月6日 PR TIMES 5296文字

[主要アングラー掲載記事](#) [タイプ別記事](#)

2024年7月31日 13:00～16:00 ポートシティ竹芝

一般社団法人日本3D教育協会は2024年7月31日（水）、海洋や3Dに興味がある中学生を対象にした「海洋研究3Dスーパーサイエンスプロジェクト」の四期生入学式・第一回授業を、ポートシティ竹芝にて実施いたしました。

昔年に続き、全国から集まった中学生11人が初めて対面で集まり、研究生としてやりたいことを交えて自己紹介をした入学式のあとは、3Dと海洋の講師からそれぞれ第一回基礎授業が実施されました。

この活動は、次世代へ豊かな海を引き継ぐために、海を介して人と人とのつながる「日本財団「海と日本プロジェクト」」の一環です。



イベント概要

・開催概要：海洋研究3Dスーパーサイエンスプロジェクトは、最新の3D技術を活用した海洋生物の研究を通じて、将来様々な分野で活躍できる人材を輩出すること、物事を深く追求できる人材育成を目的としています。海洋分野の専門家たちのアドバイスを受けながら、一人ひとりの海洋生物について、テーマを定めて研究します。3Dモデリングを基礎から実践形式まで学び、海洋生物の研究として活用しながら、約10回の授業を経た最終成果物としてオリジナルの3D作品を制作します。

第四期目となる今年は、日本全国から選抜された中学生の研究生11人が、入学式で初めての顔合わせをしました。その後、第一回目の授業（3D基礎、海洋）が実施され、研究生は、協賛各社や保護者など、ご参加いただいた皆さまと一緒に、専任講師の本格的な基礎講義を受けました。

【プログラム】



「研究生の皆さんは、型にはまった決まりは無いので、仕組みが整ったもの、やりたいことに没頭してほしいと思います。私も海洋研究に取り組んでおりましたが、こうした3Dの技術や知見に触れることができる活動への期待と、参加される研究生のみなさんが中学生とは思えないほどの研究心をもっていらっしゃることに驚きを感じております。海洋研究3Dスーパーサイエンスプロジェクトでの8ヶ月の活動を、実りある経験としていただき、今後の戦いに向けていただきたいと思います。」

＜プロジェクトに必要な製品を提供いただく協賛各社からの挨拶＞

8ヶ月の研究活動を強力にサポートして下さる協賛各社の皆さまから、激励の言葉をいただきました。



写真左から：株式会社ミマエンジニアリング（フルカラー3Dプリンター出力の提供） 上原氏、株式会社ワコム（ペンタブレットの提供） 角井氏



写真左から：株式会社エヌエスエス・Expert Material Laboratories 株式会社（CTスキャン撮影、3Dプリンタ用レジン「エヌマテ」での3D造形品の提供） 野田氏、株式会社ボンデジタル（3Dソフトウェアと3D専門書の提供） 富田氏



日経新聞

2025年4月2日



海洋研究3Dスーパーサイエンスプロジェクト】4期生「研究発表会」を実施しました【海と日本プロジェクト】

2025年4月2日 PM TIMES 3413文字

全国から集まった中学生10名による、最新の3D技術を活用した海洋生物の研究発表

一般社団法人日本3D教育協会は2025年3月28日（金）、海洋や3Dに興味がある全国の中学生を対象にした「海洋研究3Dスーパーサイエンスプロジェクト」4期生の研究発表会を、東京ポートシティ竹芝で実施いたしました。この活動は、次世代へ豊かな美しい海を引き継ぐために、海を介して人と人となつた「日本財団「海と日本プロジェクト」」の一環です。



イベント概要

会 名	「海洋研究3Dスーパーサイエンスプロジェクト」4期生 研究発表会
日 程	2025年3月28日（金）13時～16時
場 所	東京ポートシティ竹芝
参 加 者	<p>【生徒】中学生10名</p> <p>【講師】プロフェッサー：3D主任講師 志本 大樹</p> <p>海洋主任講師：東京海洋大学 海洋環境科学部門 矢野隆 中村 広</p> <p>海洋講師：筑波大学 農学部 海洋生物環境学科 佐野隆 村岡 敦寛</p> <p>【協賛】日本財団 海と日本プロジェクト</p> <p>【協力】APRIL TNR株式会社、株式会社エイオ・エー・ティー、株式会社エヌエスエス、株式会社サンステラ、ナノデジタル株式会社、日本エイサー株式会社、株式会社ゲンデジナル、Maxon Computer株式会社、株式会社マキエシニアリング、株式会社コム</p>

研究生10名のプレゼンテーション

3期に続き、4期においても、全国から熱意ある中学生が参加しました。

今年の研究の特長は「少しニッチな海洋生物」や「こだわりをを感じる研究の場所」です。小学生の頃から、草履観察や、魚の部位の研究に取り組んできた生徒が多かったため、本プロジェクトで各テーマごとの海洋講師にご教壇いただきながら、独自の世界観を感じられるユニークな作品と研究発表になりました。対面発表も6回（例年4回ほど）と多かったこともあり、同級生としての意見交換や、相談しながら進める様子も、それぞれの発表に活かされていました。



——4期生 堀 清策「スナメリ 生息地域による個体差について」を発表の様子



——生徒たちが制作した3Dモデル。上段スナメリ・ホテイエソ。下段ガザミ・センジュモドギ

4期生の研究生物と、研究テーマはこちら

【井上 蒼平】オオダグソクムシ・ダンゴムシ「なぜオオダグソクムシは完全にくれないのか

ーオオダグソクムシとオカダンゴムシとの比較からの考察」

【井上 蒼空】サメ「3種のサメの歯の形態比較」

【佐々木 蒼大】ウツボ「ウツボの「黒い口」

【田中直生】タカラガイ「様々な貝殻の内部構造の違い」

【田部公貴】ガザミ「ガザミの内部構造」

【堀 清策】スナメリ「スナメリ 生息地域による個体差について」

【中平 隼星】ホテイエソ「ホテイエソの幼魚と成魚の違い」

【榎本 健】スナメリ「スナメリのエコロケーションについて」

【菊田 珠実】アカエイ「エイの毒針について」

【山之内 沙月】ホウボウ「音を発する魚」